

認定要件に係る(ロ)の基準の取扱い

(指定業種に係る原油等の仕入価格の上昇等を指定業種及び企業全体の製品等の価格に転嫁できていないことに係る要件))

以下の要件のいずれも満たすこと。

指定業種に係る原油等の最近1か月の平均仕入単価が前年同月比で20%以上上昇（原油等の仕入単価の上昇率）

企業全体の売上原価のうち、指定業種に係る原油等の仕入価格が20%以上（原油等への依存率）

指定業種の最近3か月の売上高に占める原油等の仕入価格の割合が、指定業種の前年同期の売上高に占める原油等の仕入価格の割合を上回っていること（指定業種に係る価格転嫁の状況）

企業全体の最近3か月の売上高に占める指定業種の原油等の仕入価格の割合が、企業全体の前年同期の売上高に占める指定業種の原油等の仕入価格の割合を上回っていること（企業全体に係る価格転嫁の状況）

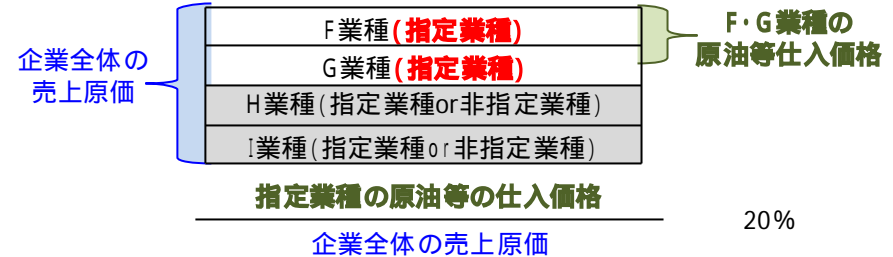
上記 から の適用関係のイメージは以下のとおり。

原油等の仕入単価の上昇率

$$\frac{\text{指定業種の最近1か月の原油等の仕入単価}}{\text{指定業種の最近1か月の前年同月の原油等の仕入単価}} = 20\%$$

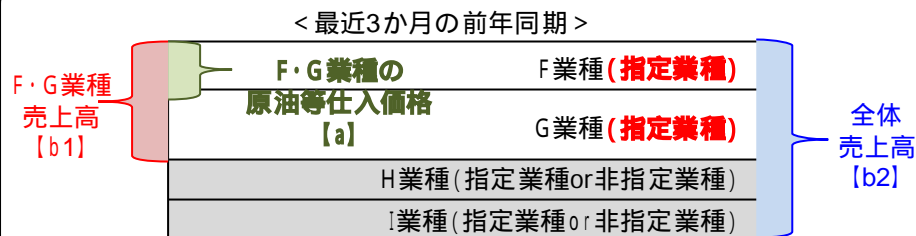
F業種・G業種に係る原油等の仕入単価の上昇率を算出

原油等への依存率



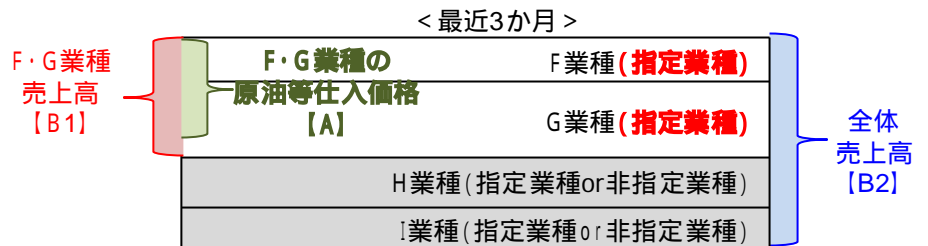
直近の決算期の売上原価及び原油等仕入価格でも可。F・G業種に係る原油等仕入価格は合算値でも可。

指定業種及び 企業全体の価格転嫁の状況



指定業種に係る価格転嫁の状況

$$\frac{\text{指定業種の原油等の最近3か月の仕入価格 [A]}}{\text{指定業種の最近3か月の売上高 [B1]}} - \frac{\text{指定業種の原油等の前年同期の入価格 [a]}}{\text{指定業種の前年同期の売上高 [b1]}} > 0$$



企業全体に係る価格転嫁の状況

$$\frac{\text{指定業種に係る原油等の最近3か月の仕入価格 [A]}}{\text{企業全体に係る最近3か月の売上高 [B2]}} - \frac{\text{指定業種に係る原油等の前年同期の仕入価格 [a]}}{\text{企業全体に係る前年同期の売上高 [b2]}} > 0$$

計算結果が0より大きければ要件を満たす。F・G業種に係る原油等の仕入価格及び売上高は合算値でも可。